

令和6年 第7回真室川町教育委員会 会議録

令和6年12月26日（木）午後1時30分より、真室川町役場町民研修室において、令和6年第7回真室川町教育委員会を開催した。

1. 出席委員	教育長	門脇 昭
	委員	遠田 且子
	委員	鮭延三枝子
	委員	中塚 聖子
	委員	高橋亜理紗

2. 事務局出席者	教育課長	高橋 雅之
	指導主幹	長倉 守
	学校教育係	
	課長補佐	阿部 一彦
	生涯学習係	
	課長補佐	佐藤 正美
	子育て支援係	
	課長補佐	栗田 猛

3. 会議案件

日程第1	前回会議録の承認について
日程第2	教育長事務報告について
日程第3	報告
日程第4	議案第34号 令和7年度教育予算案の原案について
日程第5	その他
日程第6	閉会

4. 会議の経過

教育長 ただいまから令和6年度の第7回目になります真室川町教育委員会を開会いたします。本日の案件は、お手元の次第にありますように日程第1から日程第6までとなりますのでよろしくお願いいたします。

 日程第1、「前回会議録の承認について」です。事前に資料を配布しておりましたが、修正などありますでしょうか。

委員一同 ありません。

教育長 それでは承認でよろしいですか。

委員一同 はい。

教育長 ありがとうございます。承認されました。

 日程第 2、「教育長事務報告について」です。いつもどおり一括して事務局から説明いたしますので、最後に質問という形で進めさせていただきます。それでは事務局お願いします。

阿部課長補佐 (学校教育係の事務報告及び予定を一括して説明)

栗田課長補佐 (子育て支援係の事務報告及び予定を一括して説明)

佐藤課長補佐 (生涯学習係の事務報告及び予定を一括して説明)

教育長 ありがとうございます。3 つの係から報告をいただきましたが、ご質問等ございませんか。

中塚委員 ふるさと学習発表会の様子はこういったものでしたか。今後、町に生かせる発表はありましたか。

教育課長 発表を聞いて、生徒たちの発表技術がとても向上している印象を受けました。内容については、空き家対策など町の課題への対応とあったものがありましたが、中学生の視点で真室川らしい弁当の提供など、有望なものもありました。提案が実現することが学びにつながると考えていますので、ひとつは実現していきたいと考えています。

中塚委員 私の高校生の息子も学校で発表する場面で褒められることがあったので、こういった学習がいきていると感じました。

遠田委員 取り上げる、取り上げないは別にして、子どもの意見を大人がきちんと受け止める場というのは、とても大切だと思います。

教育長 他にございませんか。

 どの提案を具現化できるか、企画課と話し合っています。他の市町村にはない活動です。ご意見にありましたが、高校や社会に出てからもこの学習はいきてくると思います。大事な取り組みですので今後も続けていきたいと思っています。

教育課長 中学校では、今後の発表までの学習のしかたなど、さらに検討を加えていくこととしています。中学 2 年生の段階で中間発表のような形をとり、学習のまとめ方、発表内容について、いろいろなコメントや指摘する機会を設け、3 年生になってから磨き上げたものを発表していただく方向で検討しています。

教育長 ありがとうございます。その他にご質問等ございますか。

鮭延委員 部活動地域移行検討委員会が開催されていますが、移行後、中学生の活動に一般の方、自分も何か教えたいと思っている人も委員会に参加できるのでしょうか。

佐藤課長補佐 検討委員会の現在の委員は 22 名で、委員の役職は、町スポーツ協会の各競技団体の事務局の方、町スポーツ推進委員の代表の方、中学校長、小学校長の代表、中学校の各部活動の外部コーチの方と

なっております。競技数が多いので、委員数も多くなっております。一般の方は、現在の外部コーチが該当すると思われますが、競技によって現在の在り方が違うため、それぞれの立場でご意見等をお願いしているところです。

教育長 部活動の地域移行の枠組みづくりになるため、現時点では、指導してみたいという一般の方に検討委員会に参加していただくことは考えておりません。今後、枠組みづくりが終われば、指導したい方等の意見を吸い上げ、繋ぐことをしていきたいと考えております。

遠田委員 スポーツ関係の方ばかりに思えますが、スポーツ以外の活動についての考えはありますか。

佐藤課長補佐 中学校の吹奏楽部には外部指導者がおり、検討委員会に参加していただいております。また、吹奏楽部の地域移行については、楽器使用や活動場所の点で整理する点が多いところです。先日、中学校で設置している保護者代表を含めた部活動運営委員会があり、そこでも説明をさせていただきました。また、1月にも町の方針や進め方を説明させていただく予定です。

今回の検討委員会では、8月に教育委員会として休日の部活動地域移行の方針を策定しましたので、今後の地域クラブの在り方について、委員の皆様と共有しました。地域クラブの在り方としては、単一のスポーツや活動で作るパターン、スポ少と合同で参加年齢を広げて作るパターン、競技種目にとらわれない総合型クラブのパターンがあります。実際に休日どうすれば活動できるのか、クラブとして成り立つにはどうすべきかお話をさせていただきました。要件として規約を作ることや、会費や保険に入るといった基本的なことから、教育委員会へクラブとして登録をする手続きも必要とすることなど、そういった規約の案や手続きを委員の皆さんにご説明させていただいて、できるところから移行しましょうと提案させていただいたところです。

教育長 令和8年度から休日の部活動について、直接、学校が関わらない方針ですので、その方向性を踏まえ、段階を経て、取り組んでいくということになります。

他にご意見等はございませんか。

委員一同 ありません。

教育課長 他にご質問がなければ、次に進みます。日程第3、「報告」を事務局お願いします。

教育課長 (第4回町議会定例会の概要について報告)

教育長 何か質問等はございませんか。報告は以上でよろしいでしょうか。

教育課長 秋山スキー大会について、ご報告いたします。去る12月23日に

第 84 回大会実行委員会があり、今年度の大会についてはこれまでと変更がございます。一つは、県スキー連盟の公認大会の位置づけを見送り、簡素化することとなりました。これまでご尽力いただいた競技役員の皆さんが高齢化しており、スタッフ確保が難しくなっている点から、特に計時計測に多くの人員が必要になっていた部分について、技術的に高度な計測はしないで、全国で導入例があるチップを選手に配布をして、自動的にタイムを計る方法に変更いたします。

教育長 県の公認を取りやめるということで寂しくなるという意見もありましたが、児童生徒数が減り、競技人口の減少や雪不足等の様々な課題がある中で、これからの大会を考えればこうした対応が必要だと考えています。

何か質問等ございますか。

遠田委員 公認大会に出場すると、ポイントが付与され、それによって大きな大会に出場できると聞いていましたが、ポイントを必要としている人はいないのでしょうか。

佐藤課長補佐 S A J ポイントという全日本スキー連盟のポイントのことかと思いますが、前提としてスプリント競技になってから高校生などの一般の方の申し込みはほぼない状況です。加えまして、その時期にはポイントが高い主要の大会が他の地域で開催されているため、ポイントが必要な選手はそちらの大会に出場する傾向にありますので、影響はないと考えております。

教育長 よろしいでしょうか。

遠田委員 はい。

教育長 その他にございますか。

中塚委員 今年の小学校のスキー授業はどうなっているのでしょうか。

教育長 まだ雪が少ないため 1 月に降ることを期待して、1 月から 2 月中旬までを予定しております。記録会は各校でやることになっております。

他にございますか。

教育長 日程第 4、「令和 7 年度教育予算案の原案について」をお願いします。

高橋課長 (予算要求概要について説明)

栗田課長補佐 (子育て支援系の予算を報告)

阿部課長補佐 (学校教育系の予算を説明)

佐藤課長補佐 (生涯学習系の予算を報告)

教育長 ありがとうございます。令和 7 年度教育予算の原案について説明がありましたが、委員の皆さんからご質問等ございませんか。

高橋委員 こどもスマイルスポット事業について、子どもが少ない中で短時間の託児を希望される方はどれぐらいいるのでしょうか。

- 栗田課長補佐 昨年と今年で現在の段階では1組ずつの実績となっております。上のお子さんの授業参観や美容室に行きたいけど預けられる人がいないときなど、ご利用いただきました。利用者は少ないですが、必要な受け皿だと考えています。
- 高橋委員 必要だとは思いますが、実際には学校の授業参観に小さなお子さんを連れてきている保護者の方が多いので、もう少し事業について広める必要があるのではないかと思います。託児があると便利という声はあるので、授業参観や文化祭などがある際に、周知があらばうれしいと思います。
- 教育長 貴重なご意見ありがとうございます。周知の方法を検討してください。
- 他にありませんか。
- 鮭延委員 公立保育所絵本自主製作事業で作った絵本の配本などはどのように考えていますか。
- 遠田委員 同じ件ですが、絵本の制作は作り始めるところから完成までが重要だと思います。完成した絵本をお子さんが繰り返し何度も読み返すのか疑問が残ります。お子さんたちに配布するのか、それとも、各施設に配本して、施設内で読むのか、どのように考えていますか。来年度もやりたいという声があった場合、この事業を継続させるのか、どのように考えていますか。
- 須田課長補佐 現在、保育所では子どもたちの日々の生活や活動の瞬間を記録する「ドキュメンテーション」という取り組みを行っています。そうした写真を撮ったり、絵を描いたりしたものを室内にも掲示しているところです。今回、園庭でコゲラの巣を発見し、そこから生き物をめぐる児童たちの活発な活動がありましたので、その様子をまとめて1冊の本にすることにより、センス・オブ・ワンダー、感性教育の具現化したいと考えたところです。保育所での今後の活動にもつなげていきたいと考えています。
- 部数については、保護者の方へと図書館・図書室、各施設に配布することを考えています。
- 遠田委員 一般の人が手に取って読むには、図書館等に行けばいいということですね。
- 須田課長補佐 はい。
- 教育長 よろしいでしょうか。他にございますか。
- 遠田委員 まちなか図書館構想事業について、まちなかと掲げている割にはあまり周知されている感じがしません。周りの人に聞いても名前は知っていてもどこで何をしているかわからない人が多く、今回の予算案の中には周知するための予算も含まれているのでしょうか。
- 佐藤課長補佐 大変申し訳ございませんが、そういった予算は含んでいません。消耗品が主なものとなっております。

- 遠田委員 たまに集まって情報交換の場を設けたり、本を貸出していることを知らない人もいるので、どこがまちなか図書館になっているのかという情報が必要だと思います。
- 教育長 例えば、まちなか図書館のマップなどでしょうか。中央公民館の改築のなかで図書室の拡充も検討されていますので、遠田委員のご意見を今後、参考にする必要があると思います。
- 遠田委員 子育て世帯学用品等購入費支援事業について、以前の教育委員会でも保護者の負担が大きいスキーやランドセル等の高額な物について話題がありました。この支援事業も保護者はありがたいと思うと思いますが、学校のほうでは見直しはないでしょうか。個人持ちになっている学用品については、全て見直してほしいと思っています。
- 阿部課長補佐 今回見直しを行い、学校用品として考えているものがあります。
- 遠田委員 絵具セットなども壊れにくく使いまわせるものなので、ぜひ来年度にでも見直しを各学校、保護者の方をお願いしたいと思います。
- 教育長 その他にも何かお気づきのことがあれば、ご意見をお願いします。ただ、なんでもかんでも公費で賄うのはどうなのかという意見もあります。副教材費を負担している市町村は全国的にみても少なく、給食費についても無償化しており、トータルしますと大変大きな金額を子育て支援には使っています。そういうところから、全てを行政が負担するのではなく、皆さんの意見を取り入れつつバランスをとっていくべきことも多いかと思っております。
- 鮭延委員 そうした視点もあり、内容によっては所得制限などの考えもあるかと思います。
- 遠田委員 リユースが当たり前になればいいなと思います。使わないから廃棄するのではなく、使えるものは使いまわして当たり前になるといいなと思います。
- 佐藤課長補佐 実例を挙げさせていただきますと、今年度は母親委員会にてクロスカントリースキーのおさがり会を実施しております。次年度もできることからやっていただきたいと思います。
- 鮭延委員 実際に孫がおさがり会で靴などをいただきました。とても喜んでおり素晴らしい活動だと思いました。
- 高橋委員 おさがり会の様子を参加者が保護者間のLINEで流してくれたため、混み具合などもわかりとても良かったです。
- 教育長 本当に素晴らしい自主的な活動だと思います。
その他の何かありますか。
- 鮭延委員 小中学生が使用する端末についてなのですが、報告の中で5年経ったので取り換えると説明がありましたが、今後も5年ごとに取り換える予定ですか。
- 阿部課長補佐 文科省からの通知で基本的に耐用年数が5年のため、5年ごとに

更新していくことが望ましいとされています。県内の中でもほぼ9割の市町村が来年度更新となっております。おそらく今後も5年ごとの更新になるかと思われます。

鮭延委員
遠田委員

はい、わかりました。

「みてみてわたしの作品展」事業で学校からでてくる子どもの作品の割合が大きいのではないかと思います、それだと担任の負担が大きいのではないのでしょうか。また、掲示する場所の関係で必ずしも数が多ければいいというわけではないと思いました。作品数が少なくてもゆとりをもって掲示してもいいのではないかと思います。

教育長

以前は確かに学校の負担感が大きいものでした。現在も学校現場で負担感を感じているのであれば改善が必要になってくるため、学校現場に確認したいと思います。

遠田委員

100%の時間を先生が使っていないほうがいいと思います。空き時間があれば子どもたちと遊ぶ時間が増え、その方が子どものためになる気がします。

教育長

ありがとうございます。他にございませんか。

遠田委員

中川木鈴の作品がどこにあるか把握していますか。また、土偶も3体あったはずですが、現在はどこにあるか把握していますか。せっくなので目録などがあるといいなと思いました。

佐藤課長補佐

生誕100年の中川木鈴の企画展を令和元年に行いましたが、その図録には民間の方が保管している絵画等が含まれています。ただし、詳細にわたってすべてを調査したかどうかはわかりませんが、例えばどこの誰さんに繋がりがあるというのは資料館がある程度把握していますので、調査ができるかどうかは別として、再度確認をして可能な限り情報収集に努めたいと思います。

教育長

ありがとうございます。ほかに質問がなければ、議案第33号、「令和7年度教育予算案の原案について」は議決いただけますか。

委員一同

はい。

教育長

ありがとうございます。議決されました。

では、日程第5、「その他」になります。事務局お願いします。なければ、委員の皆さんから何かございませんか。

なければ、日程第6、閉会になります。以上を持ちまして、令和6年度第7回真室川町教育委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。ありがとうございます。